

ID No.317	
研究課題名	腸管系樹状細胞と自然免疫受容体群の解析による感染免疫機構の解明
研究代表者	植松 智 (大阪大学・特任准教授)
研究組織	
受入教員	清野 宏 (東京大学医科学研究所)
研究分担者	武村 直紀 (大阪大学)
研究報告	
粘膜固有層に存在するCD11c^{hi}CD11b^{low}樹状細胞(dendritic cell;DC)の解析を行った。このDCは major histocompatibility (MHC) classIIを高発現し、DEC-205⁺CD80⁺CD86⁺で、CD103も陽性であった。我々の解析から、このDCはCD8a陽性であることが分かった。解析の結果、このDCはTLR3,7,9を発現しており、そのリガンドに反応してIL-6やIL-12といった炎症性サイトカインを産生した。さらに、抗原特異的なIgG、Th1応答、細胞障害性T細胞応答を誘導したが、Th17応答やIgA産生には関わらない事が明らかになった。また、放射線照射による腸管障害に関しても研究を進めている。本年は、東京大学医科学研究所の無菌施設を使い、放射線照射後に誘導される炎症に関して、常在菌と自然免疫応答がどのような影響を及ぼすかも検討を行っている。	